

Asalaamaaleku! (アッサラームアライクム) 日本のみなさん、こんにちは!

日本に帰ってきました! 「セネガル通信」が途中で止まってしまっていたけれど、それは毎日がとても忙しかったり、考えることがたくさんあったり、時には何も考えない時間も大切だったからかもしれません。でも、こうしてセネガルでの活動を最後までやりきることができて、本当に良かったなと思っています。

セネガルでの2年間は、楽しいことも大変なこともありました。帰る前は、「もっとやりたかったことがあったな…」と思って、ちょっとさみしい気持ちにもなりました。でも、日本にいる先生や友達が「おかえり!」と言ってくれたり、「またセネガルの話を聞きたい!」と言ってくれたりして、その言葉がとても嬉しかったです。

「セネガルでの生活は終わったけれど、ここがゴールじゃなくて新しいスタートなんだ!」

そう思うと、これからもみんなにセネガルのことを伝えたり、自分が学んだことを活かしていけるんじゃないかなと思っています。

そこで、この「セネガル通信」の最終号では、2年間の経験をふりかえってみたいと思います。最後まで楽しんでもらえたら嬉しいです。

1年目

新たな地での挑戦と学び



1, 2月

セネガルに到着
語学学校で現地語の勉強



3月

初めて配属先に挨拶に
行った日。挨拶が大切
なのはどこも同じ。



7月

セネガルのなが〜い
バカンス (休暇) が始
まった。



6月

デモの影響で、学校が休
みになったり、ネットが
使えない日もあった。



5月

休日はセネガル人の
お家でゆっくりする
ようになった。



4月

言葉も分からなかったけ
ど、とりあえずたくさん
の学校を見て回った。



8, 9月

同じセネガルの隊員と集
まり、朝から晩までセネ
ガルの算数について調べ
る日もあった。



10月

バカンス (休暇) が明
けて3カ月ぶりの学校
は慣れるまでに時間が
かかった。



11月

運動会をしたいと思う
学校を見つけ、授業を
はじめる。



12月

イスラム教が9割の国だ
けど、サンタクロースが
学校に現れた。

2年目

進展と迷走の連続



1月

新学期が始まり、3月頃に運動会開催を目指し、準備を始める。



2月

大統領選挙や断食が重なるからと運動会の日程が決まらない。



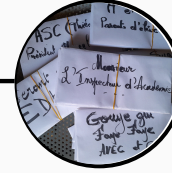
6月

運動会が終わると、6年生たちは卒業試験の勉強。私は試験結果のデータ入力係



5月

運動会を開催。当日、地元のテレビでも紹介してもらった。



4月

毎日開会式の練習をしたり、授業後は招待状を渡してまわった。



3月

計画が進まなくても、イベントや祝日を大切にする国。いろんな祭りに参加



7月

セネガルから離れて、タンザニアに旅行へ。サファリで見た景色は一生の宝物



8, 9月

他の隊員と協力して、教員養成校（先生になるための学校）で体育の授業をした。



10月

また長いバカンスが終わった。6月までに出来ていたことも元通り。上手くいかないことが多い。



11月

これまでの学校とは別の学校にも足を運ぶ。ラストスパートだと思って頑張る。

1月帰国

2年間のセネガルでの生活や活動を振り返り、この2年間の思い出を年表にまとめました。毎月1枚ずつ写真を選び、その時の出来事や気持ちをコメントとして添えています。自分の写真フォルダを見返してみると、「1年前はこんなことをしていたんだな」と懐かしい気持ちになったり、初めの頃は写真の枚数が多く、「見るものすべてが新鮮で、ワクワクしていたな」と感じたりしました。

一方で、あまり写真がない月もありました。そういった時期は、活動に集中していたり、思うようにいかず悩んでいたりを思い出しました。

写真の下には、その時の気持ちや出来事を簡単にコメントとして書きました。でも、思い出がたくさんあって、つい文字が小さくなってしまいました。

それだけ、たった1枚の写真にも、大切な思い出がたくさん詰まっているのだと改めて感じました。

こうして振り返ることで、セネガルで過ごした2年間の出来事や気持ちが、より鮮明に思い出されました。

Merci



【おまけ】セネガル通信を読んでくださっていた方からの質問にお答えします！

セネガル通信を読んでくださっていた方から、「最後にこんなことを聞いてみたい」といくつか質問をいただきましたので、簡単にお答えしたいと思います。

① セネガルで驚いたことベスト3

👉1位：お茶やコーヒーに入れる砂糖の量がすごい！

コーヒー1杯にスティックシュガーを10本も入れるのが当たり前！

甘い飲み物が好きな国民性にびっくりしました。

👉2位：2時間遅れで始まるイベント

時間通りに始まらないことよりも、誰もそれを気にしていないことに驚きました。皆さん穏やかで、時間に対してとてもおおらかです。

👉3位：赤ちゃんからおばあちゃんまで、みんながダンサー

イベントのときはもちろん、太鼓の音が聞こえると自然に体がリズムをとってしまう。音楽とダンスが生活に根付いているのを感じました。



お茶（アタヤ）入れ

② ここは日本と似ている！

セネガルには「テランガ」という文化があります。

日本のおもてなしの心に似ていますが、セネガルでは「分かち合い」の精神がとても大切にされています。例えば、食事の際には「一緒に食べましょう」と声をかけたり、困っている人がいれば家族や友人だけでなく、見知らぬ人でも助け合うことが当たり前になっています。



③ セネガルに来たらぜひ行ってほしい場所！

セネガルの観光情報を調べると、首都ダカールや古都サンルイの情報が多く出てくると思いますが、私が2年間住んでいた ティエス にもぜひ訪れてほしいです！ 空港から車で30分とアクセスがよく、「職人村(village artisanal)」では、セネガルならではのお土産を購入できます。



職人をしている友達のコマレ

④ セネガル生活で大変だったこと

日本に帰国してから、日本のライフラインの安定さに改めて驚きました。

セネガルでは、水道が止まることがあったり、電気が突然使えなくなったりすることがよくありました。ですが、現地の方々はそんな時でも「大丈夫、大丈夫！」と笑顔で過ごしていて、そのおおらかさに学ぶことも多かったです。

⑤ セネガル生活で嬉しかったこと

活動中、楽しかったこと、嬉しかったこと、つらかったこと、困ったこと… たった2年間でしたが、とても濃い時間を過ごしました。そして、帰国するとき、先生たちから素敵なプレゼントをもらったり、友人たちからメッセージや電話をもらったり、涙で別れを惜しまれたりしました。セネガルで過ごした時間は私にとってかけがえのない経験になり、これからの人生にしっかり生かしていきたいと思っています。

